

2008年10月14日

各 位

熊本県熊本市南熊本三丁目14番3号
株式会社トランスジェニック
代表取締役社長 是石 匡宏
(コード番号 2342 東証マザーズ)
問合せ先 IR・広報担当 森田貴子
電話番号 078-306-0590

新規膵臓がんマーカーに対する抗体ならびにその診断応用に関する特許出願について

株式会社トランスジェニック（代表取締役社長：是石匡宏、熊本県熊本市）と国立がんセンター（総長：廣橋説雄、東京都中央区）は、2008年10月14日、新規膵臓がんマーカーに対する抗体ならびにその診断応用に関する特許を共同出願しましたので、お知らせいたします。

当社では、様々な疾病を対象として、抗体を用いた新たな診断方法の研究開発を進めています。こうした取り組みの一環として、膵臓がんの早期診断の実用化を目的として、2007年12月より国立がんセンターと共同研究を進めてまいりました。

この共同研究において、当社は、国立がんセンター研究所 化学療法部 尾野雅哉室長、山田哲司部長らが発見した膵臓がんの診断に有望な新規腫瘍マーカー（以下 本マーカー）に対する抗体をGANP[®]マウス技術を用いて作製し、本マーカーの測定系の開発に成功しました。本発明により、膵臓がん患者の血漿中に存在する本マーカーを簡便かつ正確に測定することが可能になります。

このたび、本共同研究について期待どおりの成果を得ることができ、今後の開発・実用化に向けて知的財産の確保を図るべきであると判断し、国立がんセンターと共同で特許出願することにしました。

引き続き国立がんセンターとの共同研究を継続し、膵臓がんの早期診断に有用な簡易測定システムの開発や診断薬メーカーへのライセンスなど、実用化に向けた取り組みを進めてまいります。

なお、現時点においては、当該特許出願が当社の業績に及ぼす影響は未定であります。今後、重大な影響を与えることが判明した場合には速やかにお知らせいたします。

ご参考：

膵臓がんについて

現在わが国のがんによる死亡者数は年間32万人を超えています。なかでも膵臓がんは、肺・胃・大腸・肝臓に次ぎ、その死亡者数は約2万2千人と約7%を占めています。（出所：「がんの統計2007年版」財団法人がん研究振興財団）この膵臓がんの特徴は、早期において症状が乏しいことから早期発見が非常に困難であることや、進行が早く早期の段階から他の臓器への転移することが挙げられます。これらの点からも、膵臓がんを克服するためには治療ができる早期の段階での発見が重要であるとされています。

膵臓がんの診断方法について

近年、超音波検査やCT検査など画像検査が用いられるようになったものの、より簡便に確実に早期の膵臓がんを検出する診断方法の確立が望まれています。

現在、簡便な診断方法としては、血液中の腫瘍マーカー（CA125、CA19-9、CEAなど）の測定が用いられていますが、これらは偽陽性となることも多いことから、膵臓がん特異的な腫瘍マーカーを用いた診断検査法の確立が待ち望まれています。

以上